

科目名	地域連携実習 1							年度	2026
英語科目名	Regional Cooperation Practice 1							学期	通年
学科・学年	建築学科 3年次	必/選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	小林 猛	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		
<b>【科目の目的】</b> 地域貢献活動を通して地域の人や来場者と直に接することにより、まちづくりに対する考え方を理解できる。 イベントなどを体験することにより、企画力や行動力を身に着けることができる。									
<b>【科目の概要】</b> 大田区や川崎市などの地域・企業・学校などのイベントに参加し、企画の進め方を学んでいく。 また地域のボランティアなどの体験を通して、ボランティア意識を高め問題発見の力を身に着けていく。									
A. イベントなどの企画立案に参加できる。 B. 準備打合せなどに参加できる。									
<b>【授業の注意点】</b> 率先して自分の役割を見つけること。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	率先して能動的に参加できる。		受動的にはあるが参加できる				あまり参加できていない。		
到達目標 B	率先して能動的に参加できる。		受動的にはあるが参加できる				あまり参加できていない。		
到達目標 C									
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b> 配布資料									
<b>【参考資料】</b> 配布資料									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 期日内にすべての成果物（レポート）を提出する。 評価はルーブリックにもとづいて行い、指導教員等により講評会において評価を行う。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		地域連携実習 1			年度	2026
英語表記		Regional Cooperation Practice 1			学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	企画立案	企画の検討	1 イベント等の抽出	可能性のあるイベントなどの活動を調べ立案する。	2	
2	企画立案	企画の検討	1 イベント等の抽出	可能性のあるイベントなどの活動を調べ立案する。	2	
3	企画立案	企画の検討	1 イベント等の抽出	可能性のあるイベントなどの活動を調べ立案する。	2	
4	企画立案	企画の検討	1 イベント等の抽出	可能性のあるイベントなどの活動を調べ立案する。	2	
5	企画立案	企画の検討	1 イベント等の抽出	可能性のあるイベントなどの活動を調べ立案する。	2	
6	企画立案	企画の検討	1 イベント等の抽出	可能性のあるイベントなどの活動を調べ立案する。	2	
7	企画立案	企画の決定	1 イベント等の抽出	今年度行う活動を決定する。	2	
8	準備・打合せ	準備作業に向けて	1 準備及び打合せ	スケジュールの整理をする	2	
9	準備・打合せ	準備作業に向けて	1 準備及び打合せ	スケジュールの決定をする	2	
10	準備・打合せ	準備作業に向けて	1 準備及び打合せ	準備作業の詳細検討をする	2	
11	準備・打合せ	準備作業に向けて	1 準備及び打合せ	準備作業の詳細検討をする	2	
12	準備・打合せ	準備作業に向けて	1 準備及び打合せ	準備作業の詳細検討及び予算計画をする	2	
13	準備・打合せ	準備作業に向けて	1 準備及び打合せ	準備作業の詳細検討及び予算計画をする	2	
14	整理・分析	準備作業のまとめ	1 準備及び打合せ	当日活動の詳細を検討する	2	
15	発表	企画立案から作業内容	1 準備及び打合せ	当日活動及び準備作業の最終確認をする	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他  
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等